



士別ロータリークラブ会報

創立 1960・3・24 RI第 2500 地区

Vol. 27 No. 2883

2024-2025年度国際ロータリーのテーマ

2024-2025年度R | 会長 ステファニーA.アーチック



2024-2025年度R | 第2500地区スローガン

2024-2025年度R | 第2500地区ガバナー小谷典之

ロータリーに参画しましょう！

誰かのために、あなたのために、自分のために

RI ホームページ <https://www.rotary.org/ja>
2500地区ホームページ <http://rid2500.jp>

2024-2025年度士別ロータリーのスローガン

感謝と奉仕の心を持って

～私たちの喜びが地域社会の喜びとなりますように～



■会長／谷 温恵

■副会長／但木 行久

■幹事／近井 孝義

■例会場／士別グランドホテル

■例会日／毎週月曜日 12:10～13:00

■事務所／士別グランドホテル TEL0165-23-1234

士別RCホームページ <http://www.douhoku.jp/sibeturc/>

第2971回例会 2025年3月24日(月)

今日のプログラム

・夜間例会

前回(3月17日)の記録

・普通例会・結婚祝い

司 会 谷村一文 会場監督
齊 唱 我らの生業
本日の出席 会員 43人中 出席者 27人 出席率 67.44%(修正後)
本日の欠席 榎本實男、大橋直幸、加藤博、菊地仁、國森和磨、近藤峯世、宍戸淳
田中道也、近井孝義、千葉洋介、中山義隆、奈良康弘、南條忠勝
深尾幸夫、山本政史、生田真至

ゲスト 士別市教育委員会生涯学習博物館長兼公会堂展示館長 大留義幸 様

メイクアップ
ニコニコBOX

谷 温恵 (第76回士別幼稚園卒園式終了記念)
織戸俊二 (長年の無事故無違反・交通栄誉章「緑十字金章」受章記念)
井口裕史 (士別軌道「優良安全運転事業所 プラチナ賞」受賞記念)

累計 233,000円

例会予定

■ 4月例会日[環境月間]

- 4月 7日(月) 普通例会・理事会
- 4月14日(月) 普通例会
- 4月21日(月) 普通例会
- 4月28日(月) 夜間例会

■ 5月例会日[青少年奉仕月間]

- 5月 5日(月) 休会(法定休日:みどりの日)
- 5月12日(月) 普通例会・理事会
- 5月19日(月) 普通例会
- 5月26日(月) 普通例会

■会務報告.....谷温恵 会長

皆様こんにちは。3月も半ばを過ぎ、年度末となりました。何かとお忙しい頃を迎え、体調等いかがでしょうか？春は日中の気温差や仕事のストレス、また花粉によるアレルギー等で体調を崩しやすいと言われるので、月並みですが生活リズムや食生活を整え、また、運動や音楽などを取り入れて元気にお過ごしいただけるよう心より願っております。

さて、3月と言えば、『卒業式シーズン』。1日の高校卒業式を皮切りに、中学校、幼稚園・・・そして、今週19日が市内小学校の卒業式です。幼稚園にも懐かしい顔ぶれが、嬉しそうに卒業証書や合格通知を持って訪れます。今週もとても楽しみであります。自園の子どもたちも15日に巣立っていきました。子どもたちが楽しめるようにと環境作りや遊びの準備等、日々、教職員と共に励み頑張ってきましたので、卒園式には立派になった子どもたちの成長が嬉しい気持ちと共に可愛い園服姿がもう見られない寂しきでいっぱいでした。何度経験しても慣れないもので、とにかく涙のコントロールができないままでした。全員立派に証書を受け取ることができたものの、神様のお守りと保護者、地域の皆様の多大なる力と感謝しております。

そんな中、じっくりと新聞を見る時間をとることができずにいましたが、織戸俊二会員の素晴らしい受賞記事や土別軌道様が賞を受けられたことは皆様ご承知のことと存じます。後ほど、詳しくお話があるかと思いますが、織戸会員におかれましては、本当に長年のご配慮の賜物、そして今回の賞は織戸会員のみである受賞と考えると、織戸会員の人の柄だからこそ成し得た受賞であると、その重みを感じながら報道にふれていたところでもあります。素晴らしい受賞、本当におめでとうございます。

また井口裕史会員におかれましては、日頃より実直に会社経営されている賜物である素晴らしい受賞であります。報道記事だけでは伝わらない努力も多々あることと思います。そんなお話はまた、夜間例会などで会員皆様にお話しいただければ幸いです。誠にありがとうございました。

最後に『RLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）パートⅢ』が行われました。パートⅠより不安しかありませんでしたが、なんとか終了できたことに感謝しております。今回の内容は、廣岡委員長より「RCへの愛を深める内容となっています。」とのお話が先になりましたが、各セッションにおいて、【ロータリーの機会】・【効果的なリーダーシップ戦略】・【ロータリー財団Ⅲ】・【公共イメージ】・【規定審議会、決議審議会】・【変化をもたらす】といった内容を学びました。気合を入れて栄養ドリンクを飲んで参加しましたが、前日に卒園式、謝恩会を終えての参加でしたので、6時限目の10分休憩にはついに深い眠りに倒れ、6時限目は、目が半開きのまま、きつと訳のわからないことを喋っていたのではないかと反省しております。これまでの学びでやはり、知らなかった財団寄附のこと等をまだまだではありますが見ることができましたし、それぞれのクラブのあり方があることを知り、他クラブの楽しい親睦活動、地域を巻き込んだ奉仕活動等、アイデア次第によってさらにロータリーが豊かになる等、視野が広がりました。そして、何よりも土別RCが何事においても真面目であることを実感致しました。これからもそのようにありたいと思っております。また、何も知らない何もできない私が会長の1年、皆様にご迷惑をおかけしていることを承知ではあります。

なんとか6月末まで、無事に務めたく励みますので、今後共どうぞよろしくお願い致します。

5月のIMのご案内も来ました。春の良い季節、皆さんでお出かけも楽しいであろうと想像しております。是非、ご参加をお願い致します。

■幹事報告.....近井孝義 幹事

1. 3月26日新旧クラブ協議会を開催します。出席義務者の方が欠席の場合代理の方の出席をお願いします。
2. ひぶな会より昼食交流会の案内が会長宛に来ています、会長判断と致します。日程が3月28日金曜日正午からです。
3. ガバナー事務所より「大船渡大規模山林火災」支援金協力のお願いが来ています、4月の理事会で協議いたします。
4. 枝幸ロータリークラブよりインターシティミーティングの案内が届きました。5月24日土曜日です。テーマ「ロータリーから始めよう 環境保全 未来のために！」です。後ほど案内文を送ります。

■プログラム委員会.....神田裕教 委員長

本日は、ゲスト卓話として、土別市立博物館長の大留義幸様をお迎えしております。

■ゲスト卓話.....大留義幸 様

【要約】

皆さんこんにちは、ご紹介いただきました土別市立博物館の大留と申します。

まずは簡単に自己紹介をさせていただきます。私は、令和3年4月に博物館勤務となりまして、現在4年目でございます。私は、もともと事務職員で、特段何かの資格を持っている訳ではないのですが、博物館の他にも教育委員会職場の在籍年数が長くなり、今年で15年目となっております。

さて、説明に入ります。本館と公会堂展示館は、連絡通路でつながっており、博物館側から受付していただければ、両方の建物の見学が可能となっております。

土別駅から離れた場所にありますので、特に小中学生に気軽に来ていただくことが、なかなか難しいということがあります。学校の社会科見学などの集合学習や、親子連れで参加できる講座開催するなど、なるべく子どもさんにも来館していただきたいと、色々と工夫しているところです。

博物館の歴史についてです。当館は、屯田兵が入植し、開拓を始めてちょうど80年を迎えた昭和54年に建設が始まり、総工費、約3億6千万円をかけて建設されまして、昭和56年7月にオープンいたしました。

展示内容は、先ほどお話ししましたとおり、天塩川流域の歴史と自然を中心とした展示を行っております。オープン後は、朝日町との合併により、天塩岳が土別市域に組み込まれて、その展示スペースが必要となったことなどから、平成22年度に展示室のリニューアル工事を行いまして、現在に至っております。

続きまして、公会堂展示館の紹介をいたします。元々の「土別公会堂」につきましては、大正4年に、土別市西2条5丁目にごございます現在の「土別商工会館」の位置に建設され、議場、集会場、公民館などに使用されておりました。老朽化のため昭和59年に解体されま



したが、士別市開基90周年記念事業の一つとして、博物館の隣接地に総工費、約1億6千5百万円をかけて復元され、平成元年11月にオープンいたしました。現在は、1階には士別市ゆかりの芸術家・著名人の方々に関する紹介や、郷土芸術作品などの展示、そして2階は主に特別企画展の会場として使用しています。

職員は、現在4名で、そのうち、歴史学を専門とする学芸員が1名、自然学を専門としている学芸員が1名、合わせて2名の学芸員がおります。

年間の利用者数ですが、令和5年度は、特別企画展などを含めた見学目的の来館者が約3,800人、講座の参加者などを含めると、約5,100人くらいの利用がありました。そして近年はホームページやSNSなどで、特別展示や講座などの事業案内や実施報告など内容の充実を図って、博物館の魅力についてのPRなど利用促進に努めております。

士別市立博物館は、郷土の歴史、自然、文化芸術を扱っている「総合博物館」として、小規模ながらも多岐にわたった展示を行っています。「歴史民俗博物館」や「動物園」「植物園」などのように、専門的に特化したものは少ないですが、その分、後ほど詳しくご紹介させていただきますが、特別展示活動や、博物館講座などの教育普及活動に特色を見いだして活動しております。

博物館本館の北側では、自然展示を行っておりまして、天塩岳や天塩川流域の生き物、士別市で採掘された岩石などの自然の成り立ちについて、剥製や実物などを展示して紹介しております。

博物館の南側では、天塩川流域の歴史に関する展示を行っております。縄文時代からアイヌ文化に至るまでの開拓前史や、屯田兵入植後の開拓当時の生活の様子、また、基幹産業である農業を中心とした、その後の産業の移り変わりや伝統芸能の紹介など紹介しております。

博物館側の連絡通路入口には「旧公会堂の保存建築資材」の一部が展示されています。さらに先に進みますと、士別市ゆかりの方々の写真や絵画などの作品、そして多摩美術大学の生徒さんが作成した版画作品につきましては、半年に一度入れ替えて、他の施設との間で巡回展示をしております。

公会堂展示館内部では、まちづくり応援大使であります俳優で冒険家の和泉雅子さんの北極探検に関する資料や、士別出身でボクシングWBA・WBC元世界ウェルター級チャンピオンの輪島功一さんのトロフィーなどの品々、昭和の左甚五郎と呼ばれた士別出身の彫刻家、阿部晃工氏や、「アラブペ技法」と呼ばれる一版多色刷りという特殊な技法で世界的に有名な市内在住の版画家、小池暢子氏の作品展示を行っております。

屯田兵屋は、1899年に入植した屯田兵が家族とともに住んでいた建物で、現在の大通北2丁目（士別自工さんや、セブンイレブン）付近にあったものを、昭和44年に士別神社に復元し、さらに現在地であります、公会堂展示館の向かいに移設したものです。後に老朽化のため復元工事を行い、現在の姿となっています。入植当時の屋根は桎(まさ)ぶき屋根でしたが、火災予防の観点から現在はトタン屋根となっています。

兵屋の中では、ジオラマによる当時の生活の様子や、屯田兵についての紹介パネルなどを展示しています。なお、この建物は、昭和53年に市の指定文化財第1号に指定されています。

「特別学芸員」には、博物館業務に関わる専門的な知識を持っている方に依頼して、調査研究活動や教育

普及活動、研究課題についての報告など、多くのご協力をいただいています。この制度は、博物館がオープンした昭和56年11月に立ち上げましたが、全国的にもあまり例のない取り組みとなっております。

現在は、市内在住の方や、過去に士別市で教員としてご活躍いただいた方、日頃から地域の調査研究活動にご尽力いただいている方、講座の講師などでご協力いただいた方など、士別市にゆかりのある12名の方々に依頼しております。

「出前講座」は、当館職員が、学校や各種団体などの依頼先に出向いて講座を行うという教育普及活動の一つとなっております。

トヨタ自動車士別試験場さんが取り組むSDGs活動の一環といたしまして、令和4年度から博物館と共同でエゾサンショウウオをはじめとする地域の自然保護活動や調査研究活動を実施しております。

以上、博物館について色々ご紹介させていただきました。終わりにということですが、様々な場面で行われる「市の紹介」といいますと、必ずと言っていいほど、まず自然条件や歴史的背景の紹介となると思います。博物館は、その中心をなす郷土の礎となっている自然や歴史を守り伝えていく機関ですから、博物館職員は、そのことを肝に銘じて、その地域の自然や歴史などを先頭になって守り、伝えていくんだという気概と信念を持って日頃から職務にあたっておりますので、今後、何かございましたら、博物館学芸員を是非頼りにしていただけたらと思います。

ご清聴ありがとうございました。

■交通栄誉章「縁十字金章」……織戸俊二 会員
長きにわたっての無事故無違反に対し北海道で一人受章させて頂きました。ありがとうございました。



交通栄誉章「縁十字金章」を授与された織戸俊二会員へ谷会長よりお祝いの花束贈呈



3
ホ
フ
イ
ト
デ
イ
&

神田裕教会員 宮崎会員 織戸会員 谷会長